

## 趣意書

WHO が推奨している予防接種で防ぐことができる病気 (VPD : Vaccine Preventable Diseases) のワクチンの多くは、海外においては定期接種として行われているのにもかかわらず、わが国では、Hib (インフルエンザ菌 b 型)、小児用肺炎球菌、HPV (ヒトパピローマウイルス)、B型肝炎、水痘 (水ぼうそう)、流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) などのワクチンは任意接種であり、日本の予防接種政策は世界から大きく遅れているのが実情です。

VPD で命を失ったり、重い後遺症に苦しむ子どもたちがいます。予防接種で防ぐことができる病気から子どもたちを救うために、予防接種法を改正し、地域間や経済的格差なく、希望するすべての子どもが公費 (定期接種) でこれらのワクチン接種が受けられる制度を早期に実現させる必要があります。

日本医師会と予防接種推進専門協議会は、これらの実現のため「予防接種キャンペーン」を展開し、その一環として署名活動を行うことといたしました。

国民の皆様にも広くこの活動の趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方にご署名賜り、国への働きかけの力とさせていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成 22 年 9 月

日本医師会

会長 原中 勝征

予防接種推進専門協議会  
委員長 神谷 齊